まず一度やってみよう。いろいろなことを体験して、初めて分かることがいっぱいある！

野洲市	活動名：野洲学区わくわく子どもクラブ	野洲小学校　学校運営協議会 ： ■有　□ 無

主な活動場所：　　開始年度：平成 18 年度
年間開催日数：80 日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：０人
平均参加人数：15 人　　平均スタッフ数：３人
・活動内容：□学習支援　■体験活動　■芸術・文化　■スポーツ　□その他（　　）
・教室のもち方　：□平日放課後実施　■土曜日実施　□長期休業日実施　□その他（　　）
・スタッフの属性：□企業関係者　□行政職員　□元教職員　■地域住民　□大学生　□NPO 等関係者　□その他

■ 活動の概要
いけばな教室・絵手紙教室・親子クッキング・日本舞踊や茶道教室など学校での基礎学習以外に、子どもたちの体験学習テーマをかかげ参加意欲を高めることを狙う。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫
学年ごとではなく、全学年同時に同じ内容の課題に取り組んで、協力し合い、見習いながら、それぞれの協同体験学習にチャレンジしながら成果をめざしている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携
各講座毎に月に１回土曜日の午前中に開催しており、学校の放課後ではないため、直接的なかかわりはない。しかし定期開催なので、生活のリズム形成に有効と思われる。

■ 他事業との関わり
老人クラブや各自治会よりサポーターの応援をいただき、昔遊び等活発に展開を目指している。

【 わくわく子ども将棋クラブ 】

■ 事業の成果と課題
長年にわたり「子どもクラブ」を開催し、同じ子が１年生から６年生卒業まで継続して参加している。
最初はおぼつかない様子だったのが、卒業するころには立派に体得し、家庭においても、成果を発揮していることが想像されて非常に喜ばしいと思われる。

報告書記入者（　コミュニティーセンターやす事務局　）

自分のやりたいことを見つけよう。仲間といっしょに楽しもう。

野洲市	活動名 ： 三上楽しいクラブ活動	三上小学校　学校運営協議会 ： ■有　□ 無

主な活動場所：コミュニティセンターみかみ　　開始年度：平成 14 年度
年間開催日数：32 日（開催ペース：月１日、年１回）　　地域学校協働活動推進員数：０人
平均参加人数：６人（２～22 人）　　平均スタッフ数：２人（１人～４人）
・活動内容：□学習支援　■体験活動　■芸術・文化　■スポーツ　□その他（　　）
・教室のもち方　：□平日放課後実施　■土曜日実施　□長期休業日実施　■その他（日曜日実施　）
・スタッフの属性：□企業関係者　□行政職員　□元教職員　■地域住民　□大学生　□NPO 等関係者　□その他

■ 活動の概要
フラメンコ、軽スポーツ、バドミントン（月１回）
むかで太鼓体験教室（５月に１回）、かけっこ教室（７月に１回）

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫
複数のクラブに参加できるよう、クラブの活動日が被らないように配慮している。
普段触れる機会の少ない体験活動（むかで太鼓体験）を実施した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携
小学校の体育館を使用しての活動であるため、事前に日程調整したり、学校を通じて案内を出したり、情報提供いただいたりしている。

■ 他事業との関わり
今年度はコミュニティセンターみかみの改修工事があったため、他の事業との関わりをもつことができなかった。

【 むかで太鼓体験教室 】

■ 事業の成果と課題
月１回の活動には参加できなくても、年１回の活動であれば参加できる子どもがいる。
参加を希望する子どもの数が年々減っているのは活動のマンネリ化と習い事に通う子どもが増えているのも原因のひとつと思われる。子どものニーズに合わせた活動内容と日程を改めて考える必要がある。

報告書記入者（　三上地域推進委員会事務局　）

自然に触れ、人に触れ、さまざまな体験を通して健やかな成長を育む

野洲市	活動名：篠原地域子ども教室運営協議会	篠原小学校　学校運営協議会 ： ■有　□ 無

主な活動場所：コミュニティセンターしのはら　　開始年度：平成 17 年度
年間開催日数：21 日（開催ペース：月２日）　　地域学校協働活動推進員数：０人
平均参加人数：14 人　　平均スタッフ数：３人
・活動内容：□学習支援　■体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）
・教室のもち方　：□平日放課後実施　■土曜日実施　■長期休業日実施　□その他（日曜日実施）
・スタッフの属性：□企業関係者　□行政職員　□元教職員　■地域住民　□大学生　□NPO 等関係者　□その他

■ 活動の概要
地域の青少年の心地良い居場所づくり、体験の場の推進・充実を図り、創造性と自主性に富んだ健全な成長を願い、協働心をも育む。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫
茶道教室は日本文化との関わりを深めるために年間を通じて開催している。
今年度は、外に出掛けて工作を体験する事業を取り入れた。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携
学校を通じて、事業募集のチラシを配布していただいた。

■ 他事業との関わり
コミュニティ・スクールを意識し、学校のワクワクコンサートとコミュニティセンターの文化祭発表を共催した。工作・フラワーアレンジ・手編み・レジン等、子ども達の創った作品も展示した。

【　料理教室　】

■ 事業の成果と課題
事業を通して異年児とも仲良くなったり、「作ったものを家に飾れると嬉しい。」との声を頂いたりした。
少ない児童数の中で、興味を持って参加してもらえる事業を考える事や、講師の確保が課題である。

報告書記入者（　篠原地域子ども教室運営協議会事務局　）

いろんなことにチャレンジしよう！！「ぎおう子ども体験教室」

野洲市	活動名　：　ぎおう子ども体験教室	祇王小学校　学校運営協議会 ： ■有　□無

主な活動場所：史跡　永原御殿跡　　開始年度：平成 17 年度
年間開催日数：４日　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：10 人　　平均スタッフ数：４人
・活動内容：□学習支援　■体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）
・教室のもち方　：□平日放課後実施　□土曜日実施　■長期休業日実施　□その他（　　）
・スタッフの属性：□企業関係者　□行政職員　□元教職員　■地域住民　□大学生　□NPO 等関係者　■その他

■ 活動の概要
国指定史跡「永原御殿跡」の発掘体験を企画した。
夏休みの企画で４日間の日程で開催した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫
新型コロナウイルス感染症に対しては手指の消毒、事前に検温を行うように声をかけるなど基本的な対策をした。
暑さ対策として水筒と帽子・汗拭きタオルを持たせた。
また、安全対策として長靴・軍手・ヘルメットを着用した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携
事業実施にあたり、運営スタッフだけでなく地域の方に見守りに入ってもらうなど連携している。

■ 他事業との関わり
なるべく多くの子ども達に参加してもらえるよう日程を調整した。

■ 事業の成果と課題
楽しく郷土の歴史を学び、地域住民と交流することで、子どもたちが歴史の面白さや郷土の大切さを学んでくれている。

報告書記入者（　コミュニティセンターぎおう事務局　）

地域とともに！楽しく遊んで学ぼう！

野洲市	活動名：北野っ子フレンドリークラブ	北野小学校　学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：コミュニティセンターきたの　　開始年度：平成 23 年度
年間開催日数：21 日（開催ペース：週・月３日）　　地域学校協働活動推進員数：０人
平均参加人数：20 人　　平均スタッフ数：６人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　■スポーツ　□その他（　　）
・教室のもち方　：□平日放課後実施　■土曜日実施　□長期休業日実施　□その他（　　）
・スタッフの属性：□企業関係者　□行政職員　□元教職員　■地域住民　□大学生　□NPO 等関係者　□その他

■　活動の概要
地域の子どもたちが中心となって、活動できる居場所づくりを目指して、地域の理解と協力を得ながら、事業に取り組んでいく。

■　特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫
持続的な活動及び家でも親子と共にできるメニューを考えている。

■　学校や放課後児童クラブとの関わり・連携
特になし。

■　他事業との関わり
特になし。

■　事業の成果と課題
子どもたちには喜んで笑顔がみられる。
課題は講師の確保と提供するラインナップの拡大である。

【　工作教室　】

報告書記入者（　　コミュニティセンターきたの事務局　　）

体験は心と体の栄養だ！さあ元気になろう！

野洲市	活動名：中主地域子ども教室（中里学区）	中主小学校　学校運営協議会　：　■有　□　無

主な活動場所：コミュニティセンターなかさと　　開始年度：平成 18 年度
年間開催日数：20 日（開催ペース：月２日）　　地域学校協働活動推進員数：０人
平均参加人数：10 人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　■体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）
・教室のもち方　：□平日放課後実施　■土曜日実施　□長期休業日実施　□その他（　　）
・スタッフの属性：□企業関係者　□行政職員　□元教職員　■地域住民　□大学生　□NPO 等関係者　□その他

■　活動の概要
茶道クラブ、手芸クラブ、各月１回、年間 10 回を小学生以上対象で行っている。

■　特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫
【茶道クラブ】お茶菓子を個包装の物、茶道具も使いまわしのないようにしている。
【手芸クラブ】小さくても作品作りの達成感や喜びを味わえるようにしている。

■　学校や放課後児童クラブとの関わり・連携
小学校を通じてチラシ（申込用紙）を配布している。

■　他事業との関わり
学校行事と子ども教室事業の日程調整を行い、参加しやすい環境づくりに努めている。

■　事業の成果と課題
〔課題〕・子ども達の習熟度にバラツキがあるので、少数の指導者で教えるのが難しい。
・子どもたちの集中力を持続させる工夫が必要である。
〔成果〕・集中力の持続性や達成感を得られ、そのことが学習意欲の高揚に結び付く一助となっていると考えられる。

【　手芸クラブの様子　】

報告書記入者（　　中主地域子ども教室運営協議会事務局／中里学区　　）

なかよく楽しくみんなでチャレンジ！心豊かな中主っ子

野洲市	活動名：中主地域子ども教室（兵主学区）	中主小学校　学校運営協議会 ： ■有　□ 無

主な活動場所：　　開始年度：平成 18 年度
年間開催日数：14 日（開催ペース：週・月１日）　　地域学校協働活動推進員数：０人
平均参加人数：10 人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　■体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）
・教室のもち方　：□平日放課後実施　■土曜日実施　□長期休業日実施　□その他（　　）
・スタッフの属性：□企業関係者　□行政職員　□元教職員　■地域住民　□大学生　□NPO 等関係者　■その他

■　活動の概要
コミュニティセンター職員や地域住民が事業の講師となって小学生の居場所作りとなる活動を行っている。

■　特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫
部屋の換気、消毒などに気を付けながら子どもの自主性を尊重しながら活動している。

■　学校や放課後児童クラブとの関わり・連携
小学校の行事と重ならないように連絡を密にし、小学校を通じて教室の募集チラシなどを配布している。

■　他事業との関わり
コミュニティセンター主催の収穫祭において、茶道クラブ所属の子どもたちにお抹茶の接待のお手伝いをしてもらうことで地域の方々との交流を図っている。

■　事業の成果と課題
生け花や茶道を学ぶことで仲間を思いやる心や協調性が育まれている。

【　正月用寄せ植え教室　】

報告書記入者（　　中主地域子ども教室／兵主学区事務局　　）